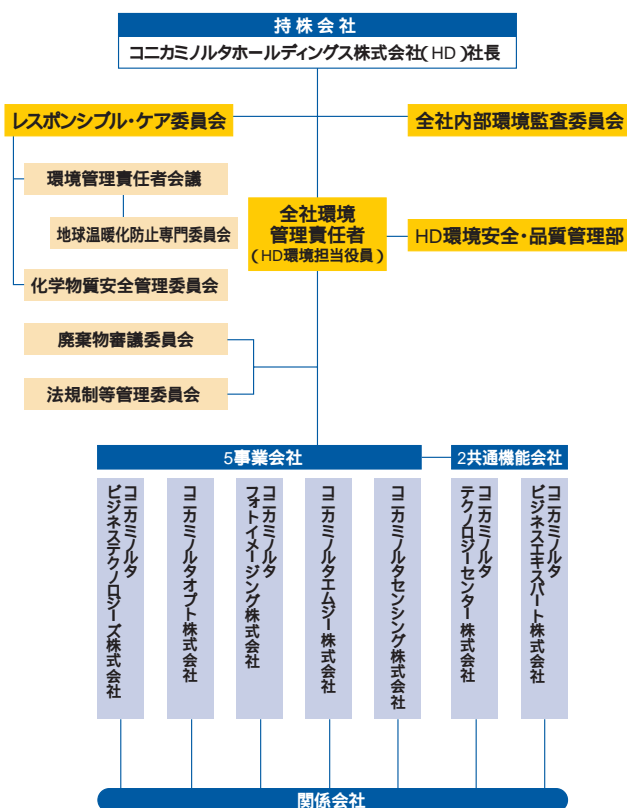


コニカミノルタの「環境活動推進組織」 新グループの連携を柱に、事業・ サイト特性に合った管理を行います。

環境活動推進組織は、持株会社社長を頂点とし、その下に各々の環境管理責任者を置く5事業会社・2共通機能会社、さらにその管理下に国内グループ関係会社を配する推進体制によって、グループ全体にわたる強い推進力を持たせています。コニカミノルタの環境目標は、この組織の最高決議機関であるレスポンシブル・ケア(RC)委員会で決定されます。さらに、全事業会社に横断的な各専門委員会を設置し、ISO14001システムに組み込んでPDCAを回しています。また、各サイトごとに環境責任者を設置し、環境負荷の低減のためのきめ細やかな管理を行っています。

環境活動推進組織体制



その他の取り組み

【環境監査】

ISO14001に基づき、毎年1回の外部監査(審査) 毎年1回以上の内部監査を行っています。

【事故・罰金・クレームについて】

2003年度、コニカミノルタでは環境関連の罰金・料料はありませんでした。クレームは、地域住民の方からの臭気に関するクレームが1件、騒音に関するクレームが4件ありました。いずれも、原因を調査して対応するとともに、クレームをいただいた方にご説明を致しました。

【グリーン購入】

コニカミノルタは環境負荷を低減する観点から、グリーン製品をON・OFFで判断するのではなく、その製品のライフサイクル全体における環境負荷

「リスクマネジメント」に関する取り組み ISO14001を用いて 法遵守、リスク管理を確実に 行います。

環境法規制では、工場関係と製品関係の2系統に大別し、いずれもISO14001を用いて法規制の遵守を確実に進めています。グループ全体として、事業活動に関わる法規制の最新情報を共有し、その遵守を定期的にチェックするしくみを構築。さらに、事業会社横断的な対応状況の情報共有が、遵守のためのダブルチェックとなっています。

また、海外も含めた法規制情報の収集ネットワークを活用し、将来を予測した体制づくりを進めています。リスク管理のためには、法規制を超えた自主管理が重要と考え、化学物質管理・廃棄物管理などに力を入れています。



廃水処理施設での水のサンプリング

「従業員の環境教育」に関する取り組み 環境意識の向上のために、 さまざまな研修を行っています。

派遣社員も含めた全従業員に対して、環境目標を達成するために必要な教育を行っています。そのほかにも、階層別教育やコニカミノルタカレッジにおいて、環境教育を行っています。また、啓発活動として外部講師を招いての「環境講演会」や「コニカミノルタ環境賞」などを設けています。



コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)でのe-ラーニングを使った環境基礎教育。



全世界のコニカミノルタ従業員から選出する「コニカミノルタ環境賞」授与式。2003年度は7組が表彰されました。

の量が少ないものをご購入したいと考えています。

また「グリーン購入ネットワーク(GPN)」に発足時より参加しており、事務用消耗品、OA機器、トイレトーパー、自動車、フォークリフト、当社パンフレットなど印刷物へ使用する紙とインクなど、さまざまなものについてグリーン購入を行っています。



医療分野・印刷分野の事業全般で 環境マネジメントを運用

2000年にMG環境委員会を発足し、企画、開発、生産、販売、サービス五位一体で環境問題に取り組んでいます。2003年度は、ゼロエミッションによる循環型社会への対応・LCA活用によるCO₂削減など大きな成果をあげました。(コニカミノルタエムシー(株)開発センター 金井邦夫)